

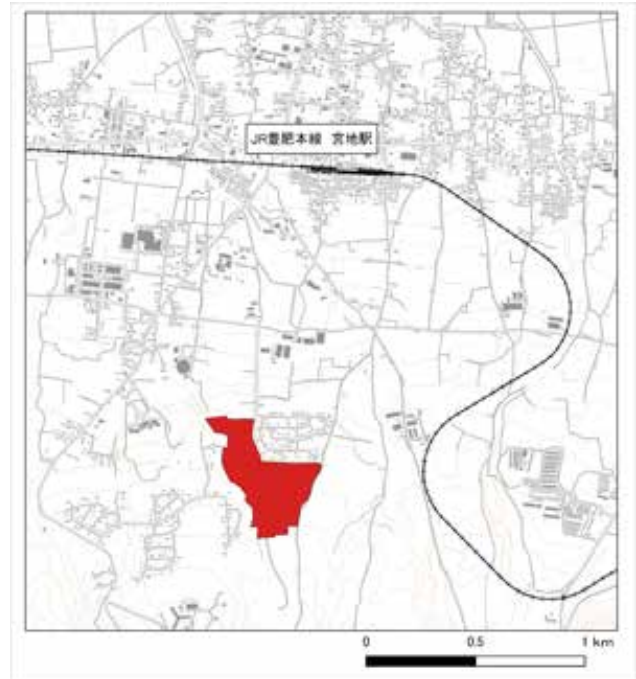
ASONOHARA草原育成プロジェクトは、熊本県阿蘇市に位置するロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾートの2019年度に竣工予定の街区における、住宅地の造成と隣接する区域の草地再生を一体的に行う取り組みです。評価された主なポイントとしては以下の2つが挙げられます。

阿蘇地域特有の草地景観の再生

過去に農地やスギ林として利用されてきた約3.6haもの区画を、阿蘇の草原をお手本とした質の高い草地へと再生するという、住宅開発事業としては例をみない計画です。近隣から調達予定のススキ、チガヤ、オカトラノオ、シシウド、カラナデシコ等の植物が植栽され、適切な管理が実施されることで、近年減少傾向にある阿蘇の草原景観の維持が図られます。

多様な生きものとの出会いが期待できる住宅地整備

住宅地に隣接する人工林は、徐々に針広混交林へと転換していく計画となっています。また、ススキ等の高茎の草本を住宅敷地の境界に植栽したり、庭などに地域在来の樹木を植栽したりすることで、住宅地でありながら生きものの住処を増やす工夫がなされています。これらの取り組みにより、野鳥や昆虫等が暮らしやすい環境が生まれ、住民が自然や生きものと触れ合える環境の形成が期待されます。



評価対象事業の位置



草地が再生されるエリアと周辺の環境